

# 旗山・烏山

はた やま からす やま

湖国健脚倶楽部

●三重県伊賀市  
視界いっぱい広がる絶景パノラマ  
鈴鹿山系最南端の稜線から眺望満喫！

## 鈴

鹿山系の主稜から少し離れますが、12月号で紹介した油日岳の南に旗山(650m)と烏山(または小平山、717m)のピークがあります。マイカー以外に便利な交通機関がない県境の山々に比べ、こちらはJR柘植駅から登山口まで徒歩で行けるのがうれしい。

主稜と旗山・烏山を結ぶ支稜部のゾロ峠を東西に東海自然歩道が横切り、また、柘植駅から北へのびる南回りの東海自然歩道(山野辺ルート)と県境付近で出合うエリアでもあるので、登山口へのアプローチもいろいろ。今回は山麓の熊鷹神社から送電線鉄塔の巡視路をたどって旗山を目指すことにしました。

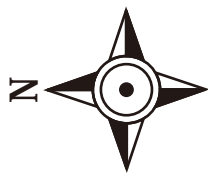
旗山・烏山の両ピークとも展望はありませんが旗山の尾根西端にある送電線鉄塔の下からは、視界いっぱい絶景が広がります。また、旗山から烏山へ向かう縦走路からも北に展望が開き、伊賀や甲賀の里の雄大さが実感できます。はるか遠くに三上山も確認できました。

下山は同じルートを引き返します。旗山中腹の鉄塔から木製階段を下ってしまおうと元のルートから外れてしまうので要注意(東海自然歩道には出られません)。巡視路に入らず尾根道をそのまま下ると熊鷹神社です。

DATA  
山行日 / 07年12月10日  
天候 / 晴れ  
歩行距離 / 約8km  
総時間 / 約5時間  
難易度 ★★ (中級向け)



旗山山頂付近にある送電線鉄塔の下から西を望む。空と大地が広がるパノラマは感動的。



灌木に覆われた烏山(小平山)山頂。



巡視路の急斜面を登る。



北に展望が開いた旗山・烏山の縦走路。

旗山から烏山のピークめざす！稜線の縦走路は見晴らし最高  
旗山からゾロ峠への分岐点までは尾根づたいの爽やかな縦走路。左手が笹原の斜面になっていて見晴らしは最高です。ゾロ峠への分岐点から烏山(小平山)を目指してさらに東へ。稜線からは鈴鹿山系の主稜が望めます。



旗山中腹にある最初の鉄塔。



この看板が登山道の分岐点。



林道の終点は熊鷹神社(登山口は左)。

熊鷹神社の祠の横が登山口です  
最初の鉄塔までは荒れた山道  
コンクリート舗装の寂しい林道を道なりに進んでいくと熊鷹神社の赤い祠が見えてきます。この左側が登山口。ここから急勾配の荒れた山道になり、倒木を避けながら登りつめると、中腹の送電線鉄塔の真下に出ます。

熊鷹神社の祠の横が登山口です  
最初の鉄塔までは荒れた山道  
コンクリート舗装の寂しい林道を道なりに進んでいくと熊鷹神社の赤い祠が見えてきます。この左側が登山口。ここから急勾配の荒れた山道になり、倒木を避けながら登りつめると、中腹の送電線鉄塔の真下に出ます。



旗山の姿を眺めながら北へ東海自然歩道を歩きます  
JR柘植駅から線路沿いに東へ行くと東海自然歩道に出合います。踏切をわたり北へ進むと右手に旗山の山容がくっきり。大日如来の石碑を過ぎ、「旗山・小平山・ゾロゾロ峠(一般的にはゾロ峠と呼ぶ)登山道」の道標があるY字路を右へ。

Goal!  
Start!

### ひとくちメモ

●送電線と鉄塔で地図を読む  
山々を縦横に走る送電線の巨大な鉄塔が目立ちやすく、実際、登山やハイキングに出かけると目にする機会が多い。この送電線鉄塔は地図を読む時にとっても役立ちます。国土地理院発行の2万5千分の地形図などには送電線のルートが記されているので、山行の際に目印にするといでしょう。自分のいる位置がよくわかります。また、山の地形などと重ね合わせると風景を見る楽しみも広がります。



### Route map

●アクセス  
JR草津線の草津駅から柘植駅まで約45分(発着は1時間に1~2本)。柘植駅から登山口の熊鷹神社までは徒歩約30分。マイカーを利用する場合は、熊鷹神社まで入ることもできますが、林道が狭いため注意が必要。奥余野森林公園に車をとめて、東海自然歩道のゾロ峠から取り付くのもいいでしょう。

●観光に関するお問い合わせ  
伊賀市伊賀支所(いがまち観光協会)  
☎0595-45-9119

※山行の際は、国土地理院発行の正確な地図(2万5千分1地形図など)をご使用ください。

